

お墓の継承について

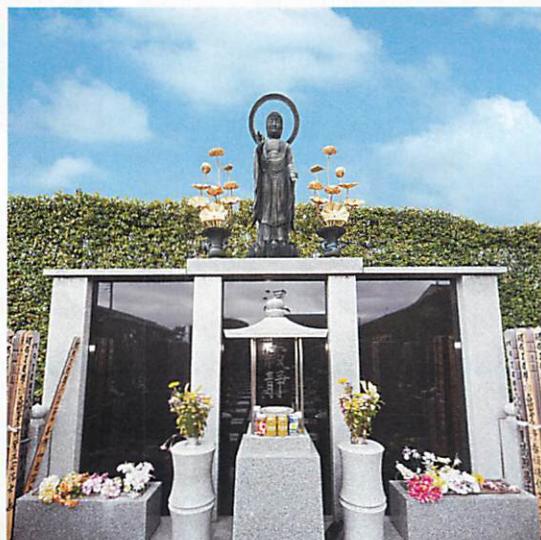
最近、お彼岸やお盆に花が供えられないお墓が僅かではあるが目立つようになってきました。

檀家のお墓は大体は寺で確認できるが、中には長い間、誰もお参りされない無縁のようになつているお墓もあります。

このようなお墓の責任者に連絡しても殆んど連絡がとれない状況になつています。

連絡できない何らかの事情があるにせよ、せめてこれからこのお墓をどうするのか相談くらいはして欲しいと思います。又、現在はお墓の守り手がいるお墓でも、将来的に見

ると繼承者がいなくなる恐れのあるお墓も増えているように見受けられます。



永代供養墓

昔は「○○家先祖代々之墓」と刻まれ、その家の家族しかそのお墓には入れないことです。又、現在はお墓の守り手なりつつあります。名字の違

う娘夫婦が後継者となるような例も多くあり、その場合は両家の名前を刻んだり、或いは

守りしております。これは住職が長年の間に相談を受けたことを形に表したものです。

何れにしても、どうしたら家族が仲良く将来的にお参りできるのか良い方法を考えることが必要だと思われます。ある意味で形にとらわれないことも必要かと。

当山では10年位前に「永代供養墓」を建立しました。これは子供のいない人や結婚しないで生涯独身であった人々等を対象に建てたもので、始めて所定の永代供養料を納めると永代にわたり寺で供養していくお墓です。既に何十人という方々がここに



や線香を供え読経をしてお祀りしております。これは住職が長年の間に相談を受けたことを形に表したものです。

気軽に声をかけて下さい。

合掌

泉藏院だより

第20号

発行／真言宗智山派
住所／〒340-0031草加市新里町三三三
TEL／048(927)5327
FAX／048(927)7036
平成二十五年九月発行

う娘夫婦が後継者となるような例が多くあり、その場合は両家の名前を刻んだり、或いは守りしております。これは住職が長年の間に相談を受けたことを形に表したものです。

第4回 泉藏院 子供ふれあい道場開催



7月25日、第4回子供ふれあい道場を開催しました。例年よりも今年は特に暑い日が続いておりましたが、当日も厳しい暑さの中、男女合わせて18名の子供が元気にお寺にやってきました。

自己紹介に始まり、例年のとおり時間割に従って日程を消化。毎年の

ことながら「瞑想」の時間はみんな真剣な面持ちで座禅をしました。座禅の後、希望者に警策で肩をピシャリ。その痛さが逆に心地良いのか打って欲しいとの希望者が続出でした。お経



の練習、写仏、本堂の拭き掃除、夕食の食作法、最後にお待ちかねの花火大会。

その全てが夏休みの思い出になってくれたら嬉しいなと思います。お寺でこのような体験をする機会は少ないと思います。



今後もこの子供ふれあい道場を開催していくつもりですので、檀信徒を始め多くの方々に知ってもらいたい一人でも多くの子供に参加して頂きたいと願っております。



本年三月より着工してまいりました「法事待合所」が七月完成致しました。

この建物は名前とおり檀家の皆さんがご法事をする際、ご家族やご親戚、参列する方がお集りになるまでの待合所として使われるものです。

小さい部屋(12名)と大きい部屋(36名)に分かれてお

こちらで参列者がお揃いになつたところです。ご本堂にご案内する形となります。どうぞご利用頂きま



「法事待合所」完成



八月十六日午後二時より当山の「大イベントである大施餓鬼会が厳修されました。

連日、高温の日が続き防災無線による「高温注意」の放送となりました。

お参りの方が少しでも涼やかになればとの思いで、境内では出入り業者(グリーンセレモニー、みくら苑、

今年はも一杯となりました。

見事に外れました。

お参りの方が少しでも涼やかになればとの思いで、境内では出入り業者(グリーンセレモニー、みくら苑、



い込みが例年よりは少なめで参拝者の数は異常な暑さであるので参拝は少なくなるかなどの思ふてんの無料サービス、

剣寿司によるかき氷やジュース、ところ合掌までした。

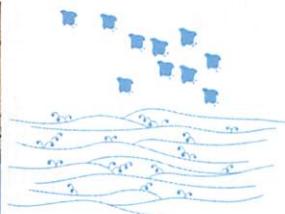
ご先祖や親しい方々のご供養のためとはいえ、こんなに大勢の参列者の姿に低頭合掌の思いでした。

ご参列の皆さま、大変お暑いところご苦労さまでした。

「大護摩供」並びに 「閻魔堂落慶法要」の 開催について

かねてより皆様方にお知らせし工事を進めてまいりました「閻魔堂」が無魔完成することになり、又修復しておりました「閻魔大王像」も予定どおり彩色眩い姿で当山へご帰還致します。よって右記のとおり大護摩供法要に併せて細やかながら落慶法要を営むことと致しました。

檀信徒の皆様方にはこの機会に閻魔大王の



お姿をご覧頂き、ご一家、ご一門の家門繁栄、家内安全等をお祈り頂きますようご案内申し上げます。

なお、恒例の「落語寄席」は今回時間の都合上お休みとさせて頂きます。次回よりは開催致しますのでご了承下さるようお願い申しあげます。

一記一

一. 日時 11月24日(日)

午後1時30分より 閻魔堂落慶入仏法要

午後2時より 大護摩供法要

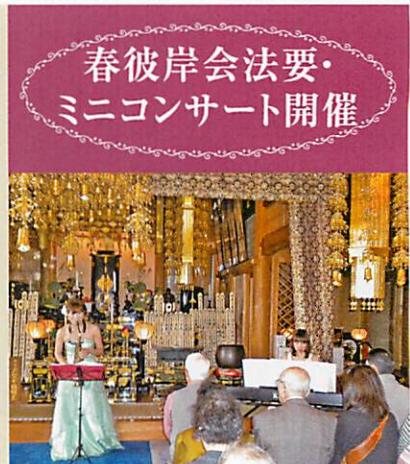
※大護摩供の申込書は後日、郵送にてお送り致します。



草加聖地靈園では毎年春に彼岸会法要・ミニコンサート、七月盆には盂蘭盆会合同法事を開催しております。

十日に開催し、市演奏家協会所属のお二人に演奏して頂きまして。サンサート、七月盆には盂蘭盆会合同法事を開催しております。

今年の春彼岸はコラボで一足先に春を感じることができました。サートは三月二日その後、参列者、ご詠歌講員、合わせて百名の方々で本堂が一杯の中、厳修されました。



身言葉なに葉ぶ

「一所懸命」



ご法事の連絡はお早めに！

ご法事は土曜日、日曜日に集中いたします。早めに日程を決めて早めに希望の日時に開催で寺にご連絡くださいこともあります。遅くなるとご希望になります。

近葉なに葉ぶ

文字どおり一つの条件)がこのことに命を懸ける、やり通すという意味であり「一生懸命」とも言います。

私達は普段の生活において何気なくよく使う言葉ですが、その基となるものはそれ達成しようといふ努力ではないかと思います。

昨今は少しやつてみて駄目ならすぐ諦めて他の方へ行ってしまう傾向があります。例え、結果が成就しなくとも、それに向かつて行った努力は無駄なものではなく、どこまで花開くことでもうか。

一つの物事が結果を生みだすためには、因縁(原因とそれに係る諸々

合掌

ホームページのご案内



当山では平成22年元旦よりホームページを開設しております。寺の活動や事業等について広くお知らせし、理解と関心を持っていただければと願っております。是非ご覧頂きますよう御案内申し上げます。

泉藏院ホームページ・アドレス
<http://www.senzoin.com>

長い間、当山に勤務してきました小宮山学道師が体調不良により5月に退職致しました。最近はこの「泉藏院だより」の編集も担当していたので残念です。これからは住職、副住職更に精進して参りますので宜しくお願い致します。

皆様も夏の疲れが出る頃ですので、お体充分にご自愛下さい。

今後の行事案内

九月二十日～二十六日：秋彼岸
十月二十四日～二十五日：閻魔堂落慶法要

午後一時三十分
大護摩供

十一月三十日～十二月三十一日：除夜の鐘

午後十時四十五分
午後二時
大護摩供

平成二十六年一月一日～元朝大護摩供
午前〇時
午後十時四十五分
午後二時
大護摩供